

すばらしき新幹線

省庁派遣による東京勤務を経験したことがある諸先輩方から、「新幹線はすごい」とよく聞いた。津軽海峡を越えなければ他県に行けない北海道出身の私にとって、新幹線はあまり縁のない乗り物である。2030年度末にいよいよ新幹線がやってくる、やはり2030年度末には間に合わないらしい、などのニュースで見ても、あまり興味がわかなかった。

そんな私だが、文部科学省に来てから出張の機会をいただいた。移動手段はお見込みのとおり新幹線である。早速、新幹線のチケットを購入するというミッションが発生した。これを読んでいる皆様は、大袈裟に書きすぎだと思われるだろうが、私は他県への移動手段は飛行機という土地に住んでいたこともあり、チケットは早めに取りなくてはいけないと思い込んでいたのである（飛行機と違い本数も座席もたくさんあり、予約を早めにすればするほどお得に買えるという訳でもないということは、後々知ることになる。）。そもそも新幹線のチケットはどこで購入できるのか？からのスタート。早くも前途多難かと思いきや、スマホさえあればいつでもどこでも新幹線のチケットが購入できることを学んだのであった。

いよいよ出張当日。新幹線は搭乗手続も手荷物検査も必要ない。改札を通過し予約した座席に座れば、後は目的地まで連れて行ってくれる。しかも、座席は広々としていて充電用のコンセントまである。移動中もシートベルトは不要で、気流の影響で揺れることもない、離着陸時の振動や重力でお土産が潰れる心配もなくて良い。新幹線…なんて素敵な乗り物なのだろうか。諸先輩方の「新幹線はすごい」という言葉が蘇った。

新幹線の快適さを知ってからは、「週末は天気が良さそうだから〇〇に行ってみよう」「来月は〇〇に一泊旅行に行こう」と、地元にはいた頃は週末引きこもり族だったことが信じられないほどフットワークが軽くなった（もちろんお財布も軽くなった。）。

もうすぐ文部科学省派遣期間も終了する。地元自治体とは異なる視点・速度で進んでいく業務を実際に経験できただけでなく、新幹線のチケットの取り方・乗り方・すばらしさまで学ぶことができた。大変充実した派遣期間であったことを地元自治体に報告したい。

地元に戻ってからは新幹線延伸を楽しみに待とうと思う。

(A. 1)

